



温かい食べ物が恋しくなるこの季節、やはり鍋料理の存在を抜きにしてウィンターライフは語れません。というわけで、今月は鍋パーティーをするのに

必要な材料をインターネットで買ってみようということになりました。鍋と酒の黄金コンビにデザートまでついたフルコースをとくとお楽しみください。

LIFE WITH INTERNET

通販生活編⑤ 毎号締め切りに追われている気がする 愚留目 都亜

【インターネットでカニ鍋パーティー!!】

つい先日ベルギーに行ってきたばかりですが、急きょ、ニューオリンズへ行くことにしました。目的はというと、またまた食事です。ニューオリンズに行ってきた友人が「食事がおいしかった」とすすめてくれたので、今回夫婦で旅行することにしたのです。

せっかくニューオリンズまで行くのだからと、ついでにロンドンとニューヨークにも立ち寄ってミュージカル見物とショッピングもしてようかと思っています。ニューオリンズでクリスマスを迎え、その後の休日をロンドンで、そして新年をニューヨークで迎えて帰国するという日程です。楽しく旅行するためにも、早くこの原稿を仕上げなくては。

さて、この号が書店に並ぶころには、すでにお正月気分も抜けているかと思いますが、この原稿を書いているのは旅行前、すなわち年末です。ということは、言わずと知れた「忘年会」シーズン真っただ中。ある日編集部で仕事をしていると、だれからとなく「今度のLife with Internetは宴会編にしたい」との声が上がりました。要するに、この連載の予算を使っておいしいものを食べたいということです。私も食べられるのだからまあいいかということで、今回

のサブタイトルは宴会食材編とでも言っておきましょう。

今月最初に注文したのは、宴会のメインディッシュです。編集者の総意のもと「鍋料理」に決まりましたが、問題は材料です。野沢牛、フグ、カニの3品で最後までもめました。結局カニに決定しました。ほんとはフグが優勢だったのですが、予算の関係で却下されました。注文したのは「カニ鍋セット」と「浜ゆでの姿カニ」です。

2番目の商品は、秋田の地酒です。冬の鍋物にはやはり日本酒ということで、おいしそうな銘柄のお酒を探して注文することにしました。この連載の担当編集者が根っからのお酒好きだったので、まわりが口を挟む間もなく、以前から目をつけていた「飛良泉」というお酒に決定しました。お酒のお店が入っていたサーバーの中に「稲庭うどん」のお店があったので、カニの争奪戦に破れた人のためにいくつか注文することにしました。実は、稲庭うどんは私の好物の1つで、海外に行くときにはいつも箱崎のTCATの近くで稲庭うどんを食べるのが私の楽しみになっているのです。

3番目はビールの自家醸造キットです。たまには日本とアメリカ以外の国から購入

したいと思い、オーストラリアのサーバーを探していて見つけた商品です。今回の宴会に向けて、いまからビールの自家醸造でもやってみようかと思ったわけです。

最後の商品はケーキです。ヨーロッパのサーバーを探していると、イギリスにケーキを発送してくれるお店がありました。なまの食べ物を注文するのはちょっと不安なのですが、ケーキの上に好きなメッセージを書いてくれるというので注文することにしました。はたして、今回の宴会はうまくいくのでしょうか?

最後に報告があります。本誌2月号の「先月の成果」で報告したピクニックバスケットですが、そのあとに正確な価格が判明しました。インターネットのWeb上では送料7ドルとなっていたのですが、実際に日本へ送る場合は50ドルかかりました。このほかに前回報告した税金を合わせると、最終的に約18,000円ということになりました。送料が商品価格(119ドル)の50%近くかかったわけです。まあ、あれだけ大きなバスケットを航空便で送ってきたのだから、当然といえば当然でしょう。日本から海外に品物を注文するときは、送料の確認も忘れずに。

先月の成果



商品番号

10番

熱帯魚用ヒーター

先月の成果の前に、後日談を1つ。なんと、1月号で注文した熱帯魚のヒーターが注文から2か月たって突然、編集部に届きました。中に入っていた明細書を見ると、注文時は11.40ドルと表示されていた送料が、実際には14.76ドルかかっていました。本誌デザイン担当のO氏とN氏によると、それでもまだ安いとのこと。URL <http://www.imall.com/al/tropical/trdschm.htm>

商品番号

14番

オリジナルマグカップ



URL <http://innovation.com/mug/index.html>

先月の最初の商品はオリジナルのマグカップでした。絵や写真をGIF形式などのファイルで送ると、それをマグカップにプリントしてくれるというお店です。結果はというと、実は注文書すらちゃんと送れませんでした。サーバーの管理者にも電子メールを送って見たのですが、何の音沙汰もありませんでした。残念ですが、あきらめるしかありません。

商品番号

15番

スポーツジャケット

URL <http://www.soccer.com/euro/>

2番目の商品はスポーツジャケットでした。これは注文の9日後に送られてきました。編集部のY君は思ったより薄手のジャケットを見て、「雪が降るくらい寒い日には、ちょっと着れないかなぁ」と言っています。Webページ上で写真を見た感じと実物が違ってしまうことは、通販ではたまにあります。何かよい解決策はないのでしょうか？ ちなみに商品は74.95ドル、Fedexでの送料が44.00ドルで合計118.95ドルでした。やはり送料が問題です。



商品番号

16番



チケットセゾンのオンラインチケット予約

URL <http://www.saison.co.jp/ticket/>

3番目の商品はチケットセゾンのオンラインチケット予約です。忌野清志郎のコンサートのチケットを予約し、すんなり買うことができました。チケットの予約申し込み後、空席があれば予約完了のメールが送られてくるので、あとは支払いを済ませてチケットを手にするだけです。今回は銀行振り込みで支払い、チケットは郵送という方法にしましたが、チケットセゾンのカウンターに直接取りに行くことも可能です。今回かかった費用はチケット代のほかに、郵送料600円と銀行の振り込み手数料103円が必要でした。

商品番号

17番

おやじのいも

URL <http://www.bekkoame.or.jp/kamei/hindex.htm>

先月最後の商品はさつまいもでした。これも問題なく買えました。注文して2日後、編集部にはさつまいもの箱が届きました（あいだに休日が入らなければ、注文後翌日到着とのこと）。編集部で蒸かして食べたところ、大変おいしかったです。商品が1,500円で、送料が930円でした。なお、ここで買ったさつまいもですが、今季は完売したそうです。



18番 鳥取のカニ

URL <http://www.sanin.com:80/kyowa/>

今月の最初の商品は「カニ」です。

この3月号が発売されるころには正月気分も抜けているころでしょうが、実際にこの原稿を書いているのは忘年会たけなわの12月中旬です。前号の校正をしようと編集部に顔を出すと、それまで赤ペンを持って忙しく仕事をしていた編集部の人たちがいっせいに私のほうを見て、「次号はカニ鍋でもしましょう」とのこと。すでに、カニをオンラインで注文できるWWWサーバーも見つけてあるという手回しのよさに圧倒されて、今回はカニを注文することにしました。以前食べそこねた馬刺し(前号参照)

の無念をカニではらそうというわけです。

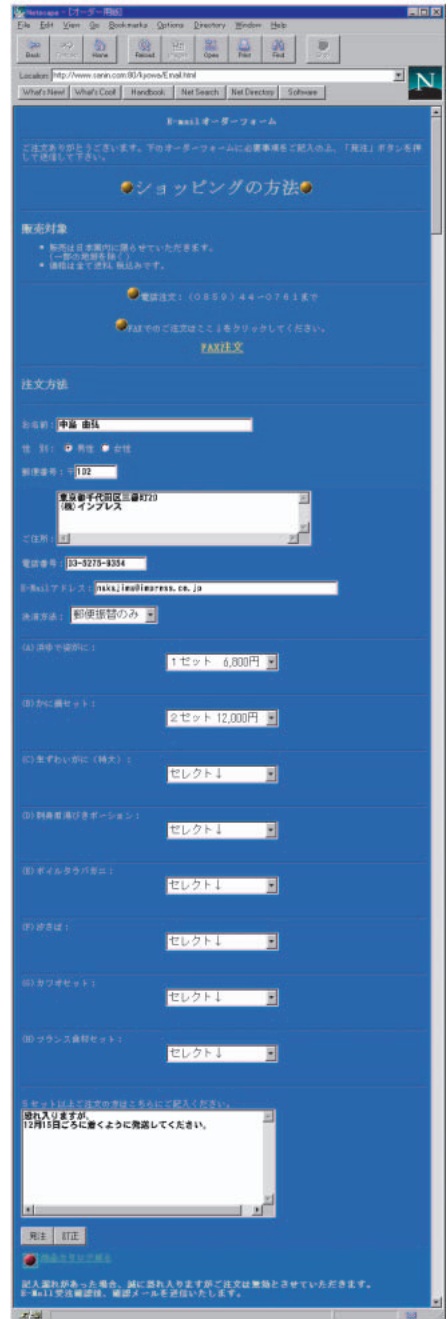
カニを売っているのは、共和グループのWWWサーバーです。共和グループは鳥取県の境港を本拠地として活動している企業グループで、WWWサーバー上でズワイガニやタラバガニなどを販売しています。

今回は、INTERNET magazine編集部以外の部署からも社内でも多数の参加者がいるようなので、カニ鍋セットを2セットと、浜ゆで姿ガニのセットを1セット注文することにしました。これだけあれば、みんなの食欲を十分に満たすことができそうです。

トップページで「特選直送コーナー」を選択すると、このページになる。「95冬」と題されたこのページには、浜ゆでのカニから刺し身用のカニまで4品がリストアップされている。さらに「つぎのページへ」というボタンを押すと、別の4品が見れる。



▲これが共和グループのトップページ。グループ内の共和水産(株)と共和冷蔵(株)の2社が共同でサーバーを上げている。



▲前のページで「オーダー」を押すと、この注文のページが見れる。必要事項を記入して「発注」ボタンを押せば注文OK。なお、支払い方法は現在のところ郵便振替のみ。

商品番号

19番 秋田の地酒とうどん

URL <http://www1.seibunsha.co.jp/www/busan/>



▲「あきた自慢」のトップページ。ここには13店がリストされているが、この注文をした95年12月末に開店していたのは6店（96年1月10日現在では新しく3店がオープンしている）。

鍋を食べる時に欲しいのは、なんといっても日本酒です。カニをつきながら飲む日本酒のおいしさをもっただけで、笑顔になってしまいます。

今回は担当編集者の希望により、「飛良泉市兵衛」というお酒を注文することにしました。このお酒を売っているのは秋田の後藤酒店というお店で、誠文社という会社が上げているWWWサーバー内の秋田ヴァーチャル物産館「あきた自慢」に出店しています。

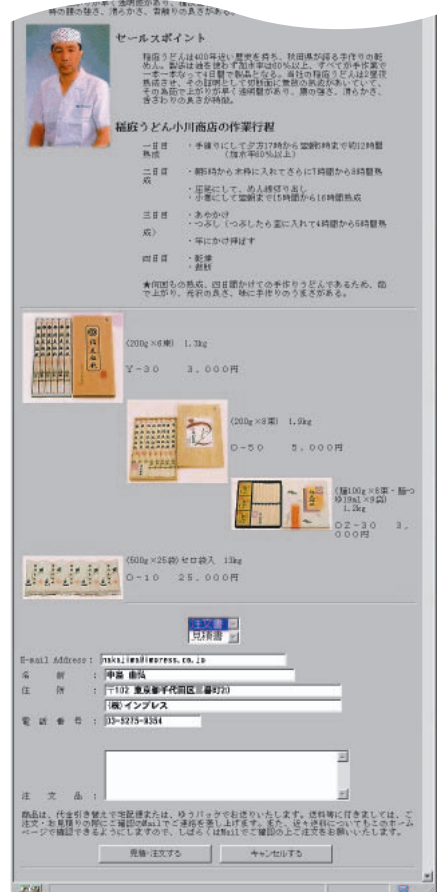
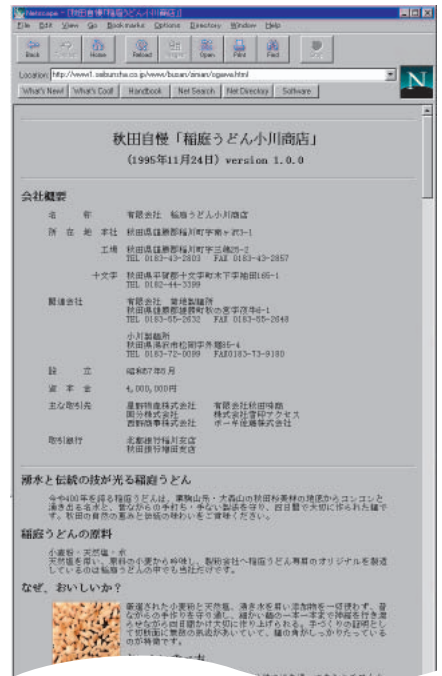
「稲庭うどん小川商店」のページ。乾麺のセットを、1.2kg入りから、なんと12.5kg入りのものまで4種類販売している。



▲「合資会社 後藤酒店」のページ。3種5品の日本酒が購入可能。送料などはあとでメールにて知らせてくれるとのこと。

このお酒には容量が2種類あって、1.8リットル（1升）瓶が3,000円、720mlが1,500円となっています。今回は1.8リットル瓶を1本購入することにしました。

さて、日本酒を飲みながらカニを食べたあとにお腹が減っても困るので、もう1品注文しておきましょう。同じサーバー内に稲庭うどんの小川商店がありましたので、麺つゆ付きのセットを購入することにしました。



商品番号

20番 ビール醸造キット

URL <http://www.shopaustralia.com.au/gday/>



つぎはビールの自家醸造キットです。日本酒を買ったのに、ビールも取り上げないわけにはいきません。

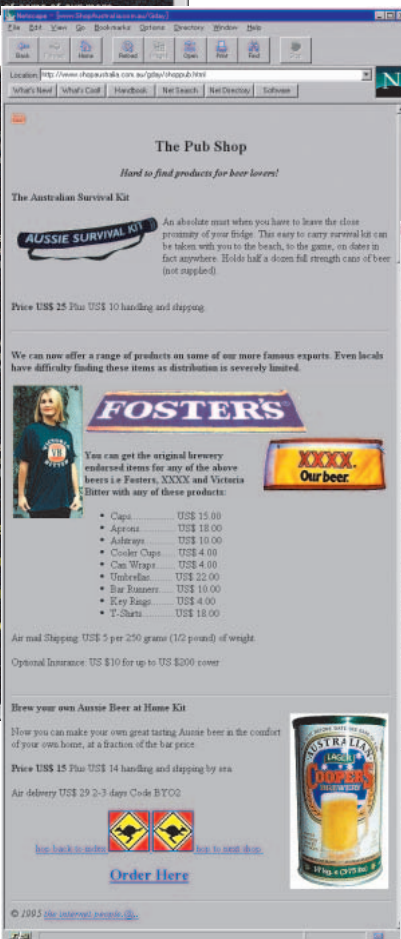
本屋さんに行ってみると、お酒の自家醸造に関する本が売られています。どうやら最近の流行のようです。ただ残念なことに、日本では法律上の理由から、自家醸造酒のアルコールの濃度が制限されているとのこと。自家醸造にトライするときは注意してください。

◀これが「The Shop Australia Mall」のトップページ。モールの中には10店舗が出店している。

このキットを販売していたのは、オーストラリアの「The Shop Australia Mall」というWWWサーバーの中の店です。お店の名前は「The Pub Shop」といいます。このお店では、サバイバルキット、Tシャツ、ビールの自家醸造キットの3種類だけが売られていました。

自家醸造キットの価格はアメリカドル建てで15ドルです。荷造り送料については、船便（by sea）の場合が14ドルで、航空便（Air）の場合が29ドルです。航空便だと2、3日で届くそうです。

このモールのトップページに「世界中に輸出する」と書かれていますので、日本へも問題なく届くのではないのでしょうか。問題は、このキットの中に何が入っているかです。オーストラリアビールがほんとうに味わるのでしょうか。

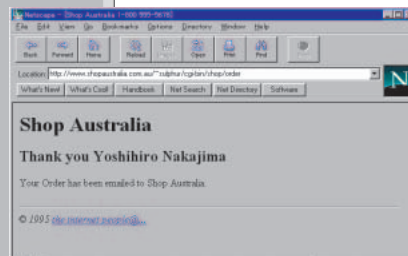


◀前のページで「The Pub Shop」を選ぶと、このページとなる。一番最後の商品がビールの自家醸造キット。



◀前のページで「Order Here」を選択すると、注文用のページとなる。品名、数量、価格などを書き入れる。なお、小計欄、送料欄、合計欄なども、自分で入力する必要がある。

▼前の注文のページで「ORDER」を押すと、この確認のページが表示されて注文終了。



商品番号

21番 フルーツケーキ

URL <http://www.octacon.co.uk/bothams/>

日本酒を飲みながらカニ鍋を食べて、そのあとにうどんまで食べたら、最後の締めはやはりデザートです。何かおいしそうなデザートはないかとWebページを探していると、イギリスにケーキを売っているお店がありました。北イングランドが本拠地のOctaconというインターネットサービスプロバイダー内にホームページを設置している「Elizabeth Botham & Sons」というお店です。「世界中に送ります」と記されているので、きっと日本へも送ってくれることでしょう。

この店のケーキには、フルーツケーキとライスケーキの2種類あり、どちらも追加料金2ポンドでケーキの上に最高5ワードまでのメッセージを書いてもらうことができます。

さて、どのような形で送られてくるのでしょうか。ケーキといえば「なま物」なわけ、衛生的に問題はないのでしょうか。また、輸送中の衝撃にもどの程度耐えられるのでしょうか。送られてくる日が楽しみです。

◀ 「Elizabeth Botham & Sons」のトップページ。ビスケット、ケーキ、プラムブレッド、ジンジャーブレッドという項目が表示される。

▼ トップページで「CAKES」を選ぶとこのページとなる。1.3kgと2.0kgの2種類のフルーツケーキと、1.4kgのライスケーキの計3種類が表示された。

	1.3kg	2.0kg
EC	£7.15	£8.00
Australia	£8.00	£8.85
USA	£8.85	£9.70

▼ 前の画面で「Click Here for Order Form」を押すとこの注文の画面となる。ケーキの上に書き込んでもらうメッセージなども、ここで指定する。

▲ 注文のページで「Submit Final Order」を押すと、このページが表示される。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp